

意見交換会開催概要

開催日時	令和6年11月26日(火) 午後1時57分 ~ 午後4時15分
開催場所	三豊市豊中町保健センター 4階 健診ホール
出席委員	総務常任委員 7名 (議長同席)
参加者	まちづくり推進隊 15名
議題	まちづくり推進隊のあり方について
意見交換会の 要点及び成果	<p>総務常任委員会の所管事務調査事項である「まちづくり推進隊のあり方について」、まちづくり推進隊の理事並びに事務局と意見交換会を行った。</p> <p>はじめに、委員長及び議長があいさつした後、委員長の進行で論点を整理しながら意見交換会を行った。</p> <p>意見交換会では、次のような要望・意見が出された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市に期待したいことは、管理費に充てられるような新しい制度の新設と、ちょっと縮小した状態でもまちづくり推進隊が継続できるような体制を整備してほしい。 ○集落支援員制度の導入にあたり、市がどういう対応をするのか、どういう使い方をするのか、現在のまちづくり事業に対してどの程度活動してもらえるのか等をもっと深掘りして、理解できるように説明してほしい。 ○補助金の申請者がその都度各部署へ申請すると手間がかかるので、申請窓口の一本化に向けた検討をしていただきたい。 ○これまで 地区衛生や自治会連合等に関わってきたが、令和8年4月から市がするというので、市職員には市民サービスが絶対に低下しないようにしてほしい。 ○まちづくり推進隊が事務局を引き受けなければ地域のまつり等のイベントができないというぐらいのところまで考えてほしい。 ○現行制度を変更することについて、自主事業の代表者はかなりショックを受けていた。基礎作りから始めて、これからどんどん広げられるところまで10年かけたものなくなるのかという意見もあった。 ○事務局として頑張っている皆さんが失業するという形にはしてほしい。今の事務局規模で抱えてる人員を、そのまま集落支援員に移行できるようにしてほしい。 ○集落支援員を推進隊の中に取り入れて事業を行っていくという考えには至らない。 ○補助金の審査は、年度開始前に一括で行う方がいい。前年にまとめてという意見が強い。 ○どの推進隊も継続したい気持ちはすごくあっても、やっぱり根底に土台(事務局)があるからこそ活動できるため、土台がちょっと今ぐらつくんじゃないかなっていう気がしている。

	<p>○まちづくり推進隊の規模が縮小しても、その体制が維持できれば、毎年 of 事業の中で見直しを行い、改革を進めていく必要があると感じている。</p> <p>まちづくり推進隊は、事務局が土台であるという認識を持っており、集落支援員では賄いきれないという意見が多く出た。また、管理費や人件費がなくなる危機感から、解散を考えている推進隊もあった。</p> <p>当委員会としては、まちづくり推進隊は地域で必要であり存続が望ましいため、新たな制度となっても地域の活性化が図れるように、組織のあり方も含めて引き続き調査研究を行い、誰もがより良い方向につながるよう取組んでいく。</p> <p>以上、報告する。</p>
備 考	

意見交換会 出席委員

<p>総務常任委員会</p> <p>7名</p>	田中 達也
	高木 修
	詫間 政司
	為広 員史
	城中 利文
	川北 善伴
	込山 文吉